

文京学院大学 貫井万里准教授の論考が 実教出版発行の高校「地歴・公民科」資料に掲載 ～現代イランを歴史的視点から読み解き、高校教育現場に専門知を発信～

文京学院大学(学長:福井 勉)は、ヒューマン・データサイエンス学部の貫井万里准教授による論考「イラン人の不屈の精神の源流 ―『イラン人』アイデンティティの歴史的形成とイスラーム共和国体制の課題―」が、実教出版株式会社発行の『じっきょう 地歴・公民科資料』103 号に掲載されることをお知らせします。

掲載の背景

近年、国際情勢が複雑化する中で、各国の政治体制や社会構造を表面的なニュースとして捉えるだけでなく、その背景にある歴史、文化、宗教、民族意識などを多角的に理解することの重要性が高まっています。

貫井准教授は、イランを中心とする中東地域研究を専門とし、政治、文化、社会、歴史、比較文化、異文化理解、社会運動論を研究分野としています。今回掲載された論考では、イランという国家の形成過程を歴史的・民族的な側面から捉えながら、「イラン人」アイデンティティがどのように形成されてきたのか、また現代のイラン・イスラーム共和国が抱える課題について考察しています。

本学では、2026 年 4 月にヒューマン・データサイエンス学部を開設し、社会課題を捉える人文・社会科学的な視点と、データサイエンス・AIを活用する力を掛け合わせた文理融合型教育を推進しています。今回の論考掲載は、本学教員の専門的知見を教育現場へ還元し、国際情勢や異文化理解に関する学びを支援する取り組みの一つです。

掲載資料集の概要

- 書名:『じっきょう 地歴・公民科資料』103 号
- 発行所:実教出版株式会社
- 発行日:2026 年 9 月 25 日
- 発行回数:年 2 回(4 月・9 月)
- 発行部数:毎号 30,000 部
- 配布先:全国の高等学校の地歴・公民科教員、各地域の教育センターなど
- 掲載論考:「イラン人の不屈の精神の源流
―『イラン人』アイデンティティの歴史的形成とイスラーム共和国体制の課題―」
- 著者:文京学院大学 ヒューマン・データサイエンス学部 准教授 貫井万里
- 掲載 URL:<https://www.jikkyo.co.jp/sys/wp-content/uploads/2026/08/chireki koumin103-2.pdf>

文京学院大学 貫井万里准教授の研究内容とコメント



貫井准教授は、イランを中心とする中東地域研究を専門とし、同地域の政治、文化、社会、歴史、比較文化、異文化理解、社会運動論などについて研究を行っています。現代の国際情勢を理解するうえで欠かせない歴史的背景や、社会・文化の形成過程を多角的に捉え、教育・研究活動に取り組んでいます。

【コメント】

2026 年 2 月にアメリカとイスラエルの攻撃によって開始したイラン戦争では、世界の大国を相手に一歩も引けを取らない不屈の精神でイランは対峙しています。そればかりか、世界の原油の 2 割、肥料の 3 割が通過する国際的な要衝のホルムズ海峡をイランが封鎖したため、物流が滞り、私たちの生活にも大きな影響を及ぼしています。世界的に孤立しながらもなぜイランは屈することはないのか。トランプ米大統領やイスラエルのネタニヤフ首相のイスラーム体制打倒の呼びかけになぜイラン市民は応えなかったのか。今回の論考では、高校生に向けて、外部からの圧力に対して「イラン国民」として結束する一方で、国内の政治的な圧力に対しては自由を求めてきたイラン人の不屈の精神の源流を、古代から現代にかけてのイランの歴史をだどりながら解説しています。